

	発行者	東京書籍株式会社	教育出版株式会社
	書名	新編 新しい道徳	はばたこう明日へ
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	① 「心の力」を育むために、3つの方針に沿って編修されている。 ・確かな教材 ・現代的な課題 ・多彩なデジタルコンテンツ	① 多様な人々と関わりながら、自己を見つめ、社会へとはばたいていけるように、魅力ある多種多様な教材で、考え、議論する道徳授業を実現し、児童の心の成長を促す工夫をしている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① ICT 端末の扱い方やオンラインゲームの遊び方など、現代的な課題を題材とした資料が提示されている ③ 「安心・安全」「情報モラル」「いじめの防止」「生命尊重」「自己肯定感」の5つの項目において、教材とコラムをユニットで全学年に取り入れている。学習後、生活と関連できるよう構成されている。	③ 役割演技や日常生活に生かす話し合い活動が取り入れられている。また、モラルスキルトレーニングの欄が全学年に設けられている。
	（4）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	① いじめ防止について、直接的教材・間接的教材・コラムを組み合わせで扱っており、多角的な視点から考えることができるように工夫されている。	① 「いじめ」や「人権」について考える教材が各学年に体系的に配置されている。
	（ウ）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 巻頭に言語活動を含めた授業の流れを提示しており、「考え、議論する道徳」の実現が図られている。 ② 他教科や SDGsと関連した教材やコラムが多数配列されている。また、どの教科と関連しているか、マークが付いていてわかりやすい。巻末に教材一覧表がついており、カリキュラム・マネジメントしやすくなっている。 ③ 話し合いのコツや進め方、役割演技の仕方などが記載されている。 ⑥ 1年生には幼児期の教育で生まれた道徳性が生かせるよう、「どうとくスタート」というイラストから考える教材が配列されており、幼児教育との円滑な連携が図られている。 ⑦ 学年に応じた教材が全学年に配置されている（例：依存症、オンラインゲーム、SNSによる情報発信） ⑧ 朗読音声や紙芝居などがほとんどの教材で使用できる（二次元コード）。ユニバーサルフォントで書かれている。	① 各教材に「導入」と「考えよう」「深めよう」を設け、学習前後の考えと心の変容を児童が実感できる。また、友だちと議論しながら価値について認識を深められる工夫がされている。 ② 他教科や特別活動との連携を意識して編成されている。 ③ 全学年に「学びのガイダンス」が記載されている。 ⑤ 「やってみよう」の項目を配置し、体験活動への手引きをしている。 ⑥ 低学年は物語教材、中学年は生活教材、高学年は人物教材を中心に発達段階に応じた構成がされている。 ⑦ 二次元コードでアクセスすることにより、参考図書や外部リンクなど学習に関する情報を見られるようになっている。 ⑧ 文節改行やカラーユニバーサルデザインといった配慮がある。
（エ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	② サイズが大きくなり、読みやすくなっている。また、軽量化されている。 ③ 文節改行・漢字とふりがなの工夫がなされている。	① 30時間以上の教材は補充教材扱いとし、地域教材や自作教材を差し替えることで、学校独自の柔軟なカリキュラムが展開できるように工夫されている。 ② 挿絵や写真などの視覚情報があり、文章も読みやすい。 ③ 文節改行や漢字とふりがなの工夫がなされている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる工夫や配慮がなされているか。	① 題名の下に考えるポイントが明記されている教材がある。追究する価値や話し合うポイントについて明記されている。 巻末に「考えるためのツール」として、切り取ってすぐに使える「心情円」など、自分の考えを可視化する思考ツールが紹介されている。思考の共有化がしやすく、議論を深められるようになっている。	① 導入での問いが明記されている。「学びの手引き」には、話し合ったり、自分の考えをまとめたりする活動が設けられている。
	②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。	② 価値を押し付けず、多面的・多角的に考えることができるよう、児童の考えを誘導しうる記述（登場人物の心情を記載した表現やセリフなど）を削除している。	② 教材末に記された「学びの手引き」には様々な問いが設けられており、児童が多様な視点から物事を見つめ、考えることができる。また、問いには価値の理解を深めるものが盛り込まれており、自分の生き方について考えを深める工夫がされている。
	③問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がなされているか。	③ 実際に道徳的行為をしてみて考える「動作化」や登場人物の言動を即興的に演技して考える「役割演技」のページを全ての学年に設けている。	③ 「やってみよう」では、役割演技を通して立場を変えて考える視点が提示されたり、モラルスキルトレーニングが計画されていたりするなど、多様な学習形態が配置されている。

	発行者	光村図書出版株式会社	日本文教出版株式会社
	書名	きみが いちばん ひかるとき	生きる力
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫  (7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 道徳の学びを「つなげる」「土台を作る」「もっと豊かに」の3項目を柱に、誰もが安心して学べるようさまざまな配慮がされている。特に道徳の「学び方」を学ぶことに重点が置かれている。  ① 学び方が「何を」「どのように」がわかりやすく記載されている。また、一年間を三分割し、学びの構築を考えた配列になっている。	① 現代的・社会的な課題に対応し、児童自らが考え、躍動的な授業展開になるよう紙面が工夫されている。  ③ いじめについては、複数の教材を一つのユニットとして、集中的に学習できるように配慮されている。また、学習の手がかりとなるよう、内容項目（何を学ぶか）を児童向けのわかりやすい言葉で掲載している。
	(イ) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の四つのテーマについて、教材＋コラムで構成したユニットが設けられている。	人間関係や命の尊さなどをテーマにした教材が組み合わせられ、集中的に学習できるように工夫されている。 ① 海岸の清掃活動をしている写真(山王小学校)
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 文章中に吹き出しや、四角囲みの空白が設けられていたり、ワークシートや活動の例が示されていたりするなど、児童に「自分なら・・・」と考えさせる工夫がある。「道徳みちあんない」のページで1年間の学習を見通し主体的に学ぶ意欲が高まる工夫がされている。 ② 「つなげよう」の項目に他教科との関連やSDGsとの関連が明記されている。 ⑤ 「演じて考える」事を重要視している。 ⑥ 同じ内容項目を扱う教材は、児童の生活実態や発達段階に合わせて内容や分量、世界の広がりなど、学年に沿って傾斜をつけた内容となっている。 ⑦ 基本的に1ページに一枚は挿絵がのっており、内容理解に困難さのある子の手助けになりやすい。また写真も多用されており、実際の状況や様子がわかりやすい工夫がされている。 ⑧ 各学年の最初に「学び方」や「話し合いのコツ」「自分事として考えるための視点」などが明記されている。	① 学習をガイドするキャラクターのアドバイスがある。また、学習の手法を例示し、考えを深める手立てとしている。 ② 価値のつながりが巻頭に描かれていてわかりやすい。また、他の教科との関連も表記している。 ③ ノートも教科書とセットになっており、自由に自分の意見を書けるようになっている。 ⑥ 丁寧でわかりやすいオリエンテーションページでは、保護者や地域の方に向けて、道徳という教科を説明することにも活用しやすい。 ⑦ 情報モラルに関する教材を全学年で取り扱っている。また、クイズ形式で楽しく学べるコラムも掲載している。すべての教材に二次元コードがある。 ⑧ カラーバリアフリー、レイアウトなどが工夫されている。また、「どうとくノート」がセットになっており、子供が負担なくまとめることができる工夫がある。 ⑧ 題名の下に、登場人物の紹介と話のあらましが載っているなど、学習に困難さを抱えた子への配慮がある。
	(エ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	② サイズがB5判とコンパクトになっている。二次元コードも多彩である。 ③ 色覚特性を持つ児童へのカラー面での配慮がなされている。カラー文字共にカラーユニバーサルデザインの専門家からのアドバイスがいかされており、見やすい。	② 文字の大きさも児童の読みやすい大きさと、大事なところは枠組みや吹き出しになるなどの工夫がある。 ③ 読みづらい漢字にはルビが振ってある。カラーバリアフリーで見やすい。
(イ) 教科・種目別の観点	①道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる工夫や配慮がなされているか。	① 「考えたことを問い直す」発問が投げかけられている箇所があり、「わかっているけどできない」「それってきれいごと？」など、本音を引き出し、人間理解を促す工夫がされている。 大人でも悩んでしまうような哲学的な問いについて楽しみながら考えるコラムが掲載されている。	① 内容項目（何について学ぶのか）をキーワードで掲載し、児童が学習の手がかりとなるようにしているため、教師の経験年数にかかわらず、一定レベルの授業展開ができる。
	②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。	② 資料内で明らかな価値の正解の方向付けがなく、児童が自分たちで価値を認めることができるように、表現の工夫や構成の工夫がされている。教材末の「考えよう・話し合おう」では、自分に引き寄せて話し合ったりするなど、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて置かれている。	② コラム欄を設け、多面的・多角的な展開ができるように配慮されている。誰が授業をしても一定のレベルでの展開ができるよう、発問が記載されている。
	③問題解決的な学習や道徳的の行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がなされているか。	③ 図を使って考えを整理する方法や教材に応じた活動のアイデア、話し合いを活発にする言葉などが示されており、児童の考えを引き出す様々な学習活動が取り入れやすくなっている。	③ 「学習の手引き」に具体的な体験的な学習の例が掲載されている。

	発行者	株式会社光文書院	株式会社 Gakken
	書名	ゆたかな心	新版 みんなの道徳
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	① 児童が「問い」を見つける構成、「考えたくなる」教材、児童の「可能性を広げる」学びの工夫がされている。	① 教材がストーリー性のある配列になっており、教材文に主題名を掲載していないことによって、多様な考えを引き出せるよう工夫されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 資料の題名の下に主題に沿ってどのように考えていくのかが明示されている。 ② 主題を明確にすることで学びに視点を示している。 「見つける」「考える」「広げる」3つの要素で構成されている。	② 何に注目して考えればよいか「考えよう」に参考例が載っている。 ③ いのちを尊び、いじめを生まない力を引き出せるように様々な価値と関連して、教材が配置されている。
	(イ) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	重点主題として、「いじめを生まない心」を全学年に掲げ、生命の尊厳、情報モラル、安全健康、キャリアなど現代的な課題に盛り込んでいる。 ① めだかの学校を扱っている。	「いのち」と「生き方」を柱とした学習が複数設定されている。 ① 二宮金次郎を扱っている。
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 児童自ら「問い」をもって授業に臨むことの重要性を踏まえ、各教材において児童の経験や生活の中から「問い」がもてるように、様々な設問（導入）の工夫をしている。 ② 「学びの足あと」をもうけ、個人の一年間の学びを一覧で確認し、他教科との関連ができるような工夫がある。 ③ 名言や名句が掲載されており、読書活動へのつながりも示唆されている。 ④ オリエンテーションでは、授業で学習したことを生活の場での体験につなげる構成となっている。 ⑦ <b>二次元</b> コードを使用して児童の視野を広げる情報を得ることができる教材もある。 ⑧ スペースが大きく、扱いやすいサイズであり、図版やグラフはすべての児童が見やすい色使いやデザインになるように工夫されている。	① 資料の最後の児童への問いかけは、児童自身の生活をふり返ったり、自分の考えを問い直したりするように工夫されている。 ② 道徳の学びから現代的課題やSDGsへの意識を育めるように、現代的課題に関連する学びのテーマをマークにしてタイトル下部に配置している。 ⑥ 各学年の巻末に「つなげよう 広げよう」を設け、児童が自分の成長をふり返り、課題や目標を見つけ、次年度へつなげることができるようにしている。 ⑦ <b>二次元</b> コードを使用して教材に関連した写真・動画・音声やクイズ形式のデジタルコンテンツにアクセスすることができる教材もある。 ⑧ 児童の関心が深い人物や話題に関連する教材を扱っている。また、写真や挿絵などにインパクトがあり、学習に参加しづらい子も引きつけられる工夫がされている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 教材の内容が分かりやすく、かつ考える時間を十分に取れるよう発達段階に応じて学年ごとの教材の文章量に配慮している。 ② 学習時期と教材内容の季節が一致するように教材の順番を設定し、児童が自分ごととして捉えられるように配慮している。	② 多様性や人権に配慮した挿絵や写真など、視覚的なサポートがある。 ③ 平易で理解しやすい文章表現がされ、読みやすさに配慮した改行がされている。漢字には、学年に応じたふりがなが付けられている。	
(イ) 教科・種目別の観点	①道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる工夫や配慮がなされているか。	① 教材の最後には、二つの「考えよう」の問いかけを設置し、ねらいに迫る視点からの問いかけと、多角的・多面的に考えられるような問いかけの工夫があり、議論しやすい道徳へのしかけがある。	① 主題名を教材本文の前ではなく巻末に提示することで、児童の多様な考えを引き出せるように配慮されている。
	②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。	② 児童に寄り添うキャラクターを設定し、共感や気づき、考えるためのポイントや考えを広めるための見方など、様々な「問いかけ」を行えるように配慮している。多様な見方・考え方を実感できるようにし、児童の多面的・多角的な思考を促す工夫をしている。	② 「いのち」「多様性」「キャリア」のテーマについて、内容項目が異なる2つの教材を連続して学ぶユニットが設定されている。
	③問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がなされているか。	③ 教材の最後の問いかけをもとに、児童が考えを広めたり、深めたりすることで、問題の解決に向けて取り組むことができるように配慮している。	③ 「深めよう」「心のパスポート」が示され、教材で学習したことを基に自分につなげて考えたり、体験したり、話題を広げたりすることを提案している。

